

◆教員不足の状況

学校種	不足人数	不足が生じて いる学校数	不足が生じて いる学校の割合
小学校	1218人	937校	4.9%
中学校	868人	649校	7.0%
高校	217人	169校	4.8%
特別支援学校	255人	142校	13.1%
合計	2558人	1897校	5.8%

※文部科学省調べ。今年度の始業日時点

小中一貫教育の成果と課題（城北・加佐中学校区）

平成28年度から先行導入している城北・加佐中学校区から報告があった成果と課題の一部をご紹介します。

【成果】

- ◇児童生徒がつながり、小小・小中連携が深まった
- ◇小・中学校教員の連携が進み、学習指導や教材開発等の指導力の向上につながった
- ◇学校・PTA・地域とのつながりがさらに深まった
- ◇中学校進学に不安を覚える児童が減少し、「中1ギャップ」の問題が緩和した

【課題】

- ◆教員の会議・研修時間の確保
- ◆教員の負担感・多忙感の緩和
- ◆児童生徒の交流活動時の移動手段・時間の確保
- ◆学力向上を意識した小学校間の連携
- ◆進路実現に向けた小中学校教員の協働
- ◆教員・PTA・地域のみんなで創造

地域ぐるみで進める小中一貫教育（佛教大学教育学部 原 清治教授）

【講演内容のポイント】

- 子どもの学力や社会性の向上には、舞鶴市が進めているように乳幼児教育と小中一貫教育とのつながりを意識し、一貫性・連続性を持って取り組むことが必要。
- 子どもが将来の見通しや夢を持つことは、学習意欲や動機に大きな影響を及ぼす。周囲の大人は、子どもの想いを否定せず聞いてやり、大人・保護者としての想いを伝えることが大切。



4 舞鶴市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

- 基準年度 平成25年度（2013年度）
- 現況年度 平成29年度（2017年度）
- 目標年度 令和12年度（2030年度）

温室効果ガス削減目標

2050年までに**温室効果ガス排出量実質ゼロ**を目指し、2030年度までに平成25年度（2013年度）比で**40%以上**の削減を目指す。

5 SDGsとの関連性